

# 震災・防災・減災学習

- ① 命のらせん階段(旧阿部家自宅) ……P46
- ② 気仙沼・本吉広域防災センター
- ③ リアス・アーク美術館
- ④ 気仙沼市観光協会 大島支部
- ⑤ 気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館
- ⑥ 一般社団法人 南三陸研修センター
- ⑦ 一般社団法人 南三陸町観光協会
- ⑧ 南三陸町震災復興祈念公園 ……P47
- ⑨ 南三陸町東日本大震災伝承館
- ⑩ 高野会館
- ⑪ 南三陸ホテル観洋
- ⑫ 女川町まちなか交流館
- ⑬ 女川町観光協会
- ⑭ 震災遺構 旧女川交番
- ⑮ 石巻市震災遺構 大川小学校
- ⑯ 一般社団法人 雄勝花物語 ……P48
- ⑰ 石巻観光ボランティア協会
- ⑱ 公益社団法人
- 3.11メモリアルネットワーク
- ⑲ 伝承交流施設「MEET門脇」
- ⑳ 石巻市震災遺構門脇小学校
- ㉑ 宮城エクスプレス株式会社
- ㉒ 絆の駅 石巻ニューゼ
- ㉓ 石巻南浜津波復興祈念公園 ……P49
- ㉔ みやぎ東日本大震災津波伝承館
- ㉕ 東松島・大震災まなび車窓ガイド
- ㉖ 東松島市東日本大震災復興祈念公園
- ㉗ 防災教育体験宿泊施設
- ㉘ KIBOTCHA(キボッチャ)
- ㉙ 栗原市防災学習センター
- ㉚ 丸文松島汽船株式会社
- ㉛ 塩竈市津波防災センター
- ㉜ みやぎ生協 東日本大震災 学習・資料室 ……P50
- ㉝ 東北福祉大学
- ㉞ 日本放送協会(NHK)仙台放送局  
定禅寺メディアステーション
- ㉟ 東北大学災害科学国際研究所
- ㊱ せんだい3.11メモリアル交流館
- ㊲ 震災遺構 仙台市立荒浜小学校
- ㊳ 深沼 うみのひろば
- ㊴ 津波復興祈念資料館「関上の記憶」
- ㊵ 名取市震災復興伝承館 ……P51
- ㊶ 一般社団法人 ふらむ名取・  
関上震災を伝える会
- ㊷ 岩沼市千年希望の丘交流センター
- ㊸ 震災語り部の会ワッターリ
- ㊹ 山元町防災拠点・  
山下地域交流センター
- ㊺ 山元町震災遺構 中浜小学校
- ㊻ やまもと語りべの会

三陸エリア

県北エリア

仙台・松島エリア

平成23年3月11日に起きた東日本大震災の巨大津波に襲われた宮城県沿岸部では復興が進み、防潮堤や幹線道路の整備、そして新たな町並みが生まれています。

一方、歳月の経過とともに「震災の風化」も危惧され、被災地では震災の語り部活動や震災遺構の公開などが行われています。

「災害は忘れた頃にやってくる」。不意の災害に向けて、普段からの防災・減災への備えが欠かせません。沿岸部での学習を通して、「命の尊さ」や「備えの大切さ」、「自助・共助の精神」などを学んでください。

※各施設のご紹介は概要のみにとどめています。体験時間・予約の有無・料金・団体割引などの詳細は事前にご確認ください。



※沿岸部では、避難ルートの誘導など非常時の対策を万全にして受入を行っています  
 (凡例) ■: 東日本大震災における津波の浸水区域  
 ※国土地理院提供資料をもとに作成

# 1 命のらせん階段(旧阿部家自宅)

10人~  
(要相談)  
60分  
(要相談)

電話 0226-23-1313  
メール info@kesenuma-plaza.co.jp  
https://www.pkanyo.jp/

(株)阿部長商店の創業者の元自宅にある外付けのらせん階段は、1960年5月のチリ地震の津波で多くの人を失った事を教訓に、東日本大震災の5年前に阿部会長が屋上を避難場所とできるよう設置されました。日頃から避難訓練を行っていた結果、震災当日は30名の命が救われたことから「命のらせん階段」と名づけられました。



■期間/通年 ■時間/9:00~17:00(要相談)  
■料金/語り部バス1台5,000円 ■休み/無休  
■住所/気仙沼市内の脇2丁目133-1

# 2 気仙沼・本吉広域防災センター

1~60人  
60~90分

電話 0226-22-6688  
https://km-fire.jp

震災の恐ろしさや地震・津波発生メカニズムを分かりやすく解説したパネルや防災用具などを展示しており、災害への備えについて学ぶことができます。体験室では、地震や煙避難の体験もできます。



■期間/通年 ■時間/9:00~16:00 ■料金/無料  
■休み/月曜日、12/28~1/7  
■住所/気仙沼市赤岩五駄鱈43-2

# 3 リアス・アーク美術館

20~70人  
60~90分

電話 0226-24-1611  
http://www.riarsark.com/

リアス・アーク美術館では、東日本大震災発生直後から震災被害記録調査活動を行い、そこから得た資料を常設展示しています。「東日本大震災をいかに表現するか」、「地域の未来のためにどう活かしていくか」というテーマで、写真203点、被災物155点、歴史資料等137点を収めています。



■期間/通年 ■時間/9:30~17:00(入館は16:30まで) ■料金/一般700円、大学専門学生600円、高校生500円、小中学生350円(1F・2F常設展示共通チケット) ■休み/月・火曜日(祝休日の場合は翌日)・年末年始、メンテナンス休館 ■住所/気仙沼市赤岩牧沢138-5

# 4 気仙沼市観光協会 大島支部

1~100人  
60分

電話 0226-28-3000  
http://www.oshima-kanko.jp/

東日本大震災による津波では島が二つに分かれ、昔からの伝承が証明され津波の恐ろしさを改めて感じました。地震、津波そして山火事と次から次へと押し寄せる被害…。災害から自らの命を守る大切さ、命の尊さを被災した気仙沼大島で学んでみませんか。地元のガイドにより震災の様子、災害時における対応や身の安全の確保を学びます。人数が多数の場合はご相談ください。



■期間/通年 ■時間/9:00~16:00  
■料金/ガイド1人5,000円(1~50人まで※51人以上1人100円×人数プラス)  
■休み/不定休 ■住所/気仙沼市浦の浜151-2

# 5 気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館

120人  
(120人以上は要相談)  
90分~

電話 0226-28-9671  
http://www.kesenuma-memorial.jp/



気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館は、将来にわたり震災の記憶と教訓を伝え、警鐘を鳴らし続ける「目に見える証」として整備された施設です。施設を見学することにより、東日本大震災を「他人事から自分事」に置き換え、いつ起こるか分からない災害に対しての心構えを養うことができます。

防災・減災を学べる体験プログラムとして、見学した後に心に残り、防災意識の向上につながる啓発の場として「語り部ガイド」「ふりかえりワークショップ」などをご用意しています。

●語り部ガイド:東日本大震災の記憶をもとに様々な職種・知識・経験を持った語り部が震災の教訓を語り継いでいきます。また、地元中高校生による語り部も行ってまいります(要相談)。

●ふりかえりワークショップ:今見たもの、聞いたものは「すごい」「おそろしい」だけでは終わらせず、見学した後に、自分の生活におきかえて考えてまいります。

■期間/通年  
■時間/[4~9月]9:30~17:00(最終受付16:00)、[10~3月]9:30~16:00(最終受付15:00) ■料金/一般600円、高校生400円、小中学生300円  
■休み/月曜日(祝休日の場合は翌日) ■住所/気仙沼市波路上瀬向9-1

# 6 一般社団法人 南三陸研修センター

10~30人  
4時間

電話 0226-25-9501  
https://ms-iriyado.jp/

今後起こりうる地震を想定し、シミュレーションするプログラムです。もし、あなたが学校にいるときに地震が起こったら…そのままそこが避難所になったら…あなたはどんな行動をとりますか?ロールプレイ後は、実際に避難所を経験した地元住民の方に実体験を語ってもらいます。ノウハウを学ぶのではなく、心構えをすることで災害に備えるプログラムです。



■期間/通年 ■時間/9:00~17:00  
■料金/3,500円(1人) ■休み/8/13~8/16、12/29~1/3  
■住所/南三陸町入谷字鏡石5番3

# 7 一般社団法人 南三陸町観光協会

10~200人  
(200人以上は要相談)  
60~150分

電話 0226-28-9215  
https://www.m-kankou.jp/educational-travel/

平成23年3月11日の東日本大震災当日、そしてその後不自由な環境下で生活してきた人々の様子は、震災を生で経験したこの町の住民にしか語りすることができません。被災者が直面している現状や、復興に向けての歩み、教訓などを話します。南三陸町で実際に目で、そして耳で感じてください。



写真提供:南三陸町観光協会

■期間/通年 ■時間/9:00~16:00開始まで ■料金/[講話+バス案内]20人まで1団体19,800円、21人以上は1人毎に990円追加 ※高校生以下の学生割引料金 ※講話会場費別途 ■休み/年末年始 ■住所/南三陸町志津川五日町200-1

## 8 南三陸町震災復興祈念公園 「犠牲者への追悼と震災を伝承する場所」

10~120人  
※プログラムにより異なる  
60~150分  
※プログラムにより異なる

電話 0226-28-9215 (一社)南三陸町観光協会  
https://www.m-kankou.jp/educational-travel/

南三陸町震災復興祈念公園は2020年10月13日に東日本大震災で甚大な被害を受けた南三陸町の中心エリアに完成しました。南三陸さん商店街と公園をつなぐ橋も開通し、旧町防災対策庁舎や町内の犠牲者名簿を安置した石碑が立つ「祈りの丘」は、犠牲者への追悼と震災を伝承する場となっております。※復興祈念公園に立ち寄るプログラム：語り部による学びのプログラム、まちあるき語り部



写真提供：南三陸町観光協会

- 期間/通年 ■時間/[体験プログラム] 9:00~16:00開始まで
- 料金/お問い合わせください ■休み/[体験プログラム] 年末年始
- 住所/南三陸町志津川五日町200-1 (一社)南三陸町観光協会

## 9 南三陸町東日本大震災伝承館 「南三陸311メモリアル」

ラーニングセンター  
(有料エリア) 50人  
有料エリア60分  
(レギュラープログラムの場合)

電話 0226-28-9215  
HP https://m311m.jp/  
メール m311m@m-kankou.jp

南三陸町が東日本大震災で被災した体験を伝えると共に、防災・減災について自分ごととしてみなさんに考えていただくきっかけを提供するラーニング施設です。住民が震災で経験したことを伝え、体験者の思いに触れることができる展示やプログラムに工夫を凝らしています。命を守るために、防災に対する「答え」を見つけるのではなく、「もしも〇〇だったら」と問い続けることがより重要だということを、この施設で体感していただけます。



写真提供：南三陸町観光協会

- 期間/通年 ■時間/9:00~17:00 ■料金/レギュラープログラム：一般・大学生、1,000円(800円)、高校生800円(600円)、小中学生500円(400円) ショートプログラム：一般・大学生600円(500円)、高校生500円(400円)、小中学生300円(200円) ※( )内団体料金 ※詳細はお問い合わせください
- 休み/火・年末年始(12/29~1/3) ■住所/南三陸町志津川五日町200-1

## 10 高野会館 (震災伝承施設第3分類)

10人~  
(要相談)  
70~120分  
(要相談)

電話 0226-46-2442  
メール minamisanriku@kanyo.co.jp  
https://www.mkanyo.jp/

東日本大震災当時、スタッフの判断により327名の高齢者や近隣住民と犬2匹の尊い命が救われた震災伝承施設です。当時の地上レベルや津波浸水高を実感でき、屋上からは南三陸町の現状を一望できます。これまで皇室関係者、官僚をはじめ国内外から47万人以上の方が来館し、自然災害の脅威や防災減災の大切さを伝えていきます。



- 期間/通年 ■時間/8:00~17:00 (要相談)
- 料金/語り部バス1台5,000円 ■休み/無休
- 住所/南三陸町志津川字汐見町32-1

## 11 南三陸ホテル観洋 「語り部バス」

バス  
1~10台  
60~90分  
時間帯の都合は要相談

電話 0226-46-2442  
https://www.mkanyo.jp/

被災した私たちが、その体験や教訓を伝え、防災意識を高めるために「語り部バス」を運行しています。町の様子を見て回るだけではわからないため、震災の風化を防ぎ後世に教訓を伝えるための「語り部バス」です。(第3回ジャパン・ツーリズム・アワード大賞受賞) ※累計47万人にご利用頂いています(2024年10月現在)



- 期間/通年 ■時間/8:00~日没まで
- 料金/バス1台につき5,000円 ■休み/無休
- 住所/南三陸町志津川黒崎99-17

## 12 女川町まちなか交流館 「女川町の歩みを紹介」

1~160人  
20~120分

電話 0225-24-6677

女川駅から海に向かって徒歩約3分の場所にあります。ホール・会議室は講話や製作体験などに利用できます。ロビーには女川町の年表と東日本大震災から現在までの歩みをパネルや模型で展示しています。※昼食の会場としても利用できます



- 期間/通年 ■時間/9:00~21:00 ■料金/パネルなど展示見学は無料。他に施設使用料別途。使用する部屋・使用内容によって料金が異なる。
- 休み/第2・4火曜日、年末年始 ■住所/女川町女川2丁目65番地2

## 13 女川町観光協会 「減災を意識した持続可能なまちづくり」

バス2台まで  
10~80人  
60分~

電話 0225-54-4328  
https://www.onagawa.org

生まれ変わった女川町と共に巡りながら、震災時の様子、震災前後の街並みの変化などをガイドします。さらに、自分の住んでいる町で災害が起きるとしたら、どのような被害があるかなど、考える機会となるよう案内に努めています。行程や学習の目的、お時間によって内容を調整いたします。



- 期間/通年 ■時間/10:00~16:00 ■料金/20人までの場合[まち歩き案内のみ]11,000円、[講話のみ]16,500円、[バス窓案内+まち歩き案内]22,000円、[バス窓案内+まち歩き案内+講話]33,000円 ※時間、20人以上の料金はお問い合わせください ■休み/無休 ■住所/女川町女川二丁目16-5

## 14 震災遺構 旧女川交番 「津波の脅威を後世に伝える」

1~40人  
30分

電話 0225-54-4328  
https://www.onagawa.org  
(一般社団法人 女川町観光協会)

旧女川交番は東日本大震災時の大津波の引き波により土台の杭が引き抜かれ横倒しになったと考えられています。東日本大震災の記憶と教訓、絶望から立ち上がった人々の復興の歩みを後世に引き継ぐとともに、二度と同じ悲しみや苦しみを味わうことの無いように願い、震災遺構として保存しています。



- 期間/通年 ■時間/終日見学可能、[語り部ガイド対応]10:00~16:00(要予約)
- 料金/見学無料 ※語り部ガイド申込時は有料 ■休み/無休
- 住所/女川町海岸通り1 (海岸広場内)

## 15 石巻市震災遺構 大川小学校 「震災をめぐる事象と教訓」

屋外 屋内  
制限なし60人  
60分

電話 0225-24-6315  
https://www.ishinomakiikou.net/okawa/

校舎を中心とした遺構はフェンスの外から見学することができ、その周辺には解説パネルとメッセージを設置しています。併設する大川震災伝承館では、震災前後の写真等のパネルや地域模型、実物資料を展示し、震災をめぐる事象と教訓を伝えます。



- 期間/通年 ■時間/9:00~17:00 ■料金/無料 ■休み/大川震災伝承館：水曜日(祝休日の場合は翌日)・年末年始(12/29~1/3)
- 住所/石巻市釜谷字壱鳥94

**16 一般社団法人 雄勝花物語** **10~80人**  
**「ボランティアの受け入れと防災学習」** **90~180分**

携帯 **090-9037-4593**  
 FAX **0225-98-5039**  
 メール **hirotoku3920@voice.ocn.ne.jp**  
<http://ogatsu-flowerstory.com/>

本団体の活動拠点の雄勝ローズファクトリーガーデンでは、教育旅行生の被災地ボランティア活動を受け入れています。作業内容はガーデン整備、北限のオリーブの堆肥入れ等です。また被災後の地域課題である移転元地の利活用事業に取り組んでおり、SDGsに最適な学びを提供しています。さらに3.11の避難体験から教訓を導き、首都直下地震や南海トラフ地震津波に対応した防災教育を提供しています。



■期間/通年 ■時間/9:00~17:00 ■料金/ボランティア1人100円、現地案内・震災語り部・防災教育・体験教室は要相談 ■休み/年末年始 ■住所/石巻市雄勝町雄勝字味噌作34-2 雄勝ローズファクトリーガーデン(震災遺構大川小学校より車で5分)

**17 石巻観光ボランティア協会** **1~150人**  
**「石巻・大震災まなびの案内」** **90・120・150・180分コース**

電話 **0225-93-6448** (一般社団法人 石巻観光協会)  
<https://i-kanko.com>

東日本大震災後、「石巻・大震災まなびの案内」として、団体・個人の方々のバスや乗用車での車中案内、まち歩きを開設。被災状況や当時の体験など震災を語り、災害時に最も重要な「防災への意識と心得」、「命の大切さ」、「防災教育活動」の向上につなげていくプログラムを組み、案内活動をおこなっています。



■期間/通年 ■時間/9:00~17:00 ■料金/コースにより異なる※HP料金表参照。有料施設の案内は別途 ■休み/お盆・年末年始 ■住所/石巻市中央2丁目11-21 一般社団法人 石巻観光協会内

**18 公益社団法人**  
**3.11メモリアルネットワーク**

電話 **0225-98-3691** <https://311support.com>

**語り部と歩く3.11(震災遺構/伝承館)** **90~120分**  
(200人以上可能  
プログラムによって異なる)  
(プログラムによって異なる)

「震災遺構門脇小学校」と「みやぎ東日本大震災津波伝承館」の周辺には、震災前は約4,500名の暮らしがあり、施設外には3.11の経験と未来への願いが詰まっています。施設の展示見学だけでなく、かつての街並みや暮らしがあった場所に訪れ、あの日の避難経路の一部をガイドと共に登る追体験などを通して、3.11前後の記憶と教訓にふれてみませんか。



<https://311support.com/training/311memorial-walk>

**語り部と歩く3.11(語り部の想いに触れる)** **120人**  
**120分**

語り部と一緒に石巻南浜津波復興祈念公園やその周辺を歩く体験型の特別プログラムです。震災前は約1,800世帯もの暮らしがあった公園やその周辺を1班約20名で歩いてご案内。語り部が被災した地域や避難した現場と一緒に立ち、悲しみや後悔、未来への願いなどの思いに触れることで「これから、自分にできること」に向かいます。



<https://311support.com/training/311memorial-walk>

■期間/通年 ■時間/10:00~16:00 ■料金/高校生以下990円(基本料金) ■休み/年末年始 ■住所/石巻市門脇町5丁目1-1

**19 伝承交流施設「MEET門脇」** **1~80人**  
**「あの日の行動から避難の必要性を体感」** **30~60分**

電話 **0225-98-3691** (3.11メモリアルネットワーク)  
<https://311support.com/learn311/meetkadonowaki>

「MEET 3.11, Act for the Future/3.11でつながろう 未来のために動き出そう」をコンセプトに2021年3月に開館。2面のシアタールームでは、「あの日」の100人の行動から避難の必要性を体感できる他、3.11を知らない子ども達へ、漫画動画やクイズによる学びを提供します。この施設を核に、隣接する復興祈念公園や震災遺構と地域の語り部を組み合わせた学習要望を繋いでいきます。



■期間/通年 ■時間/10:00~17:00(最終入館16:30)  
 ■料金/300円(高校生以下は無料) ■休み/水・年末年始 ■住所/石巻市門脇町5丁目1-1

**20 石巻市震災遺構門脇小学校** **800人程度**  
**「津波火災の痕跡を残す唯一の震災遺構」** **60~90分**

電話 **0225-98-8630**  
<https://www.ishinomakiikou.net/kadonowaki/>

遺構(本校舎)は外通路から教室内部を見学することができ、津波の威力や津波火災の恐ろしさを体感できます。併設する展示館では、証言や映像、石巻に繰り返し津波が襲っていたことを示す大地の記録などを展示しています。また、実際に使用された応急仮設住宅に入ることができます。

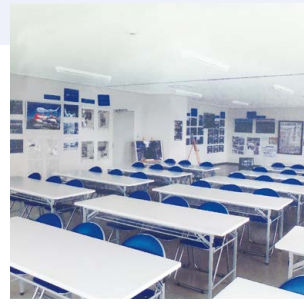


■期間/通年 ■時間/9:00~17:00 最終入館時間:[2~10月]16:00、[11~1月]15:30 ■料金/大人600円、高校生300円、小・中学生200円※小学生未満無料、20人以上は団体料金(各100円引き) ■休み/月曜日(祝休日の場合は翌日)・年末年始(12/29~1/3) ■住所/石巻市門脇町四丁目3番15号

**21 宮城エクスプレス株式会社** **1~100人**  
**「石巻3.11あすのためのミュージアム」** **30~120分**

電話 **0225-95-1000**

2013年、石巻市から津波避難ビル協定事務所として認定されました。「石巻3.11あすのためのミュージアム」を5階フロアに開設し、震災に関する各新聞や写真、防災グッズなどを展示しています。屋上にはヘリポートが設けられ、防災時の備えも行っています。



■期間/通年 ■時間/8:30~17:00  
 ■料金/無料 ■休み/年末年始  
 ■住所/石巻市魚町2-1-2

**22 絆の駅 石巻ニューゼ** **20人**  
**1時間程**

電話 **0225-95-5231**  
 メール **newsee@hibishinbun.com**

石巻地方で100年以上夕刊を発行している石巻日日新聞社による震災伝承施設です。東日本大震災で新聞の印刷ができない状況でも、6日間、手書きの壁新聞を制作して避難所の人たちに地域情報を届けました。館内に展示している壁新聞(実物)や、当時の報道写真等を通して、災害時の情報の重要性や、信頼される情報のあり方などを伝えています。



■期間/通年 ■時間/10:00~16:00 ■料金/見学のみは無料、講話希望の場合は一般1,100円、大学生以下550円 ■休み/日曜日・年末年始、その他臨時休館あり ■住所/石巻市双葉町8-17 石巻日日新聞社2階

## 23 石巻南浜津波復興祈念公園 「追悼の想いと記憶と教訓を後世へ」

お問い合わせ  
ください  
30~90分程度

電話 0225-98-7401 ※公園利用に  
関すること  
<https://ishinomakiminamihama-park.jp>

本公園は、東日本大震災により亡くなられた方々の追悼、震災の記憶と教訓の後世への伝承、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信を目的とした復興祈念公園です。祈りの場や追悼の広場のほか公園全体を眺望できる一丁目の丘、善海田池などがあり、また、本公園内の「みやぎ東日本大震災津波伝承館」では、宮城県と国が震災伝承のための展示をしています。園内には駐車場3箇所(350台分うち大型用12台)。  
■期間/通年 ■時間/9:00~17:00(ただし、4~9月の期間は18:00まで)  
■料金/入園無料 ■休み/無休(みやぎ東日本大震災津波伝承館についてはP49をご確認ください) ■住所/石巻市南浜町二丁目1-56



## 24 みやぎ東日本大震災津波伝承館

40人程度  
(要相談)  
60~90分

電話 0225-98-8081 ※展示見学に  
関すること 0225-98-7401 ※公園利用に  
関すること  
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/densho/miyagi-denshokan.html>

リアルな津波の映像や被災者の証言により、津波から命を守るためには「逃げるしかない」ことを訴える映像をはじめ、県内の震災伝承施設や語り部活動を行なう団体等のほか、震災を契機に生まれた地域の復興に関する取組等を紹介するなど、被災の状況や津波から尊い命を守るための教訓等をパネルや映像を用いて伝えます。  
■期間/通年 ■時間/9:00~17:00 ■料金/無料 ■休み/月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始(12/29~1/4) ※ただし毎月11日は曜日・祝日に関わらず開館  
■住所/石巻市南浜町2丁目1-56 石巻南浜津波復興祈念公園内



## 25 東松島・大震災まなび車窓ガイド 「支援に感謝。車窓から見る被災地の姿」

バス4台まで  
90分

電話 0225-25-7319 (KIBOTCHA)  
<https://kibotcha.com/>

被災した人々が訪問者に対し、震災当時の惨状、体験談、命の尊さ、そして日本全国からいただいた支援に対する感謝の思いを伝えています。被災地の見学は、車窓からの案内が基本です。天候などに依り、途中下車も可能です。  
■期間/通年 ■時間/9:00~16:00(季節により変更あり)  
■料金/ガイド1人5,500円 ■休み/年末年始  
■住所/東松島市野蒜字亀岡80



## 26 東松島市 東日本大震災復興祈念公園

1~30人  
(震災復興伝承館)  
30~60分

電話 0225-86-2985 (東松島市震災復興伝承館)  
<http://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/>

東松島市東日本大震災復興祈念公園は、震災で亡くなった方々への鎮魂と震災の記憶を広く後世に伝える施設として、慰霊碑が建つ広場、旧野蒜駅を改修した震災復興伝承館、震災遺構として旧野蒜駅のプラットフォームなどを含んだ公園となっております。震災復興伝承館では、写真パネルによる震災からの復興の歩みや、震災当時の映像や体験談を視聴することができます。  
■期間/通年 ■時間/9:00~17:00 ■料金/無料  
■休み/第3水曜日・年末年始  
■住所/東松島市野蒜字北余景56-36



## 27 防災教育体験宿泊施設 KIBOTCHA(キボッチャ)

お問い合わせ  
ください  
120分

電話 0225-25-7319  
<http://kibotcha.com>

東日本大震災により津波被害を受けた旧野蒜小学校跡地を利用した防災エデュテインメント施設です。「KIBOTCHA」の名前は「希望」+「防災」+「Future(未来)」を意味し、防災をテーマに子供たちが楽しく学ぶことができます。  
■期間/通年 ■時間/10:00~17:00(最終受付16:00)  
■料金/2,200円~(防災教育) ■休み/ホームページで公開  
■住所/東松島市野蒜字亀岡80



## 28 栗原市防災学習センター 「防災に対する意識の向上」

2~30人  
60~120分

電話 0228-22-8511  
<http://www.kuriharacity.jp/>

各種体験ゾーンがあり、地震や火災などの災害を体験しながら学習することができます。防災に対する意識を高めることができます。  
■期間/通年 ■時間/9:30~16:00 ■料金/無料  
■休み/月曜日(祝休日の場合は翌日)・年末年始  
■住所/栗原市築館字留場中田111-1 栗原市消防庁舎内1F



## 29 丸文松島汽船株式会社 「震災から復興~海の語り部」

10~300人  
40~50分

電話 022-354-3453(松島)  
電話 022-365-3611(塩釜)  
<https://www.marubun-kisen.com/>

東日本大震災を風化させることのないよう、地元でしか聞けない当時の話を遊覧船内で伝えています。教育旅行では「明日という日は当たり前に来る訳じゃない」という事から、人と人の繋がりが如何に大切かを話します。  
■期間/通年 ■時間/9:00~15:00(時間外は要相談)  
■料金/1,050円(生徒・教職員) ■休み/無休  
■住所/松島町松島字町内98-1 松島海岸レストハウス2番窓口



## 30 塩竈市津波防災センター 「パネルや映像で震災の記録を伝える」

要相談  
30~60分

電話 022-794-7232  
<https://www.city.shiogama.miyagi.jp/soshiki/9/2479.html>

震災発生からの1週間にフォーカスし、当時の市民の生活などを1日ごとにまとめたパネルや映像を使って震災の記録を伝え、その経験から得た防災のポイントをわかりやすく学べる施設です。  
■期間/通年 ■時間/9:00~17:00 ■料金/無料 ■休み/月曜日・第2火曜日(祝休日の場合は翌日)・年末年始(12/29~1/3)、臨時休館あり  
■住所/塩竈市港町1丁目4-1



### 31 みやぎ生協 東日本大震災 学習・資料室

20人程度  
30~40分

電話 022-374-8531

<https://www.miyagi.coop/>

「東日本大震災」を決して忘れず、そしてみやぎ生協がこの震災に際し取り組んだことを伝えるために2013年に設置。被害状況を数値と写真で展示しています。生きるためにどう行動したかを伝えています。シアタールームを設置。震災以降のみやぎ生協の復旧・復興の歩みや、被災者支援の活動をまとめたビデオをご覧ください。



- 期間/通年 ■時間/10:00~17:00 ■料金/無料
- 休み/館内展示施設:日・祝・年末年始・お盆
- 住所/仙台市泉区八乙女4-2-2

### 32 東北福祉大学 「学生交流による防災・減災学習プログラム」

10~120人  
お問い合わせください

電話 022-265-8722 (みやぎ教育旅行センター)

<https://miyumi.info/search/page11.html>

日本各地で発生した災害被災地でのボランティア経験を活かし、学生が市民との協働や専門家の知見を交え考案した防災・減災学習メニューを、学生の指導で実施します。東日本大震災で、県内ほとんどの避難所で実施されたエコミーラス症候群予防体操「さんあい体操」など、楽しく防災を学べます。また、震災を経験した学生による語り部も行っています。



- 期間/通年 ■時間/10:00~17:00
- 料金/無料 ■休み/土・日・祝、大学の行事等がある日
- 住所/仙台市青葉区国見1丁目8-1

### 33 日本放送協会(NHK)仙台放送局 定禅寺メディアステーション

お問い合わせください  
お問い合わせください

電話 022-211-1001

<https://nhk.jp/sendai>

「東日本大震災の事実や記憶、経験や教訓を伝えること」をコンセプトに、地震発生から72時間の総合テレビの映像を視聴できるコーナーや、被災地の歩み、復興の経過を長期的に記録した「定点映像」、その場にいるかのように被災地の状況を知ることができるVR映像の体験コーナー等があります。



- 期間/通年 ■時間/10:00~17:00 ■料金/無料 ■休み/月曜日(祝日の場合は翌日)・12/29~1/3 ■住所/仙台市青葉区本町2-20-1 ※団体見学は、事前予約が必要です。お電話でお申し込みください※見学については事件事故等に対応できない場合、予告なく中止・変更することがありますので、ご了承ください。詳しくは電話でお問い合わせください。

### 34 東北大学災害科学国際研究所 「みちのく震録伝」

10~100人  
(100人以上は応相談)  
90~120分

電話 022-268-9568

(公財)仙台観光国際協会

<http://shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp/>

東北大学災害科学国際研究所では、全世界の自然災害の被害軽減に向けて、日々、世界最先端の研究を行っております。「みちのく震録伝」プロジェクトでは、東日本大震災をはじめとする近年の自然災害に対する経験と教訓をテーマに研究をしております。講義では、研究成果をもとに児童・生徒の習熟度に応じた構成で、防災・減災への講義を行います。



- 期間/通年 ■時間/8:30~17:00 ■料金/40人以上の場合5,000円(会場使用料)※別途、資料印刷代等で費用発生する場合あり
- 休み/土・日・祝 ■住所/仙台市青葉区荒巻字青葉468-1

### 35 せんだい3.11メモリアル交流館 「大震災の記憶と経験を紡ぐ」

1~60人  
30~60分

電話 022-390-9022

<https://sendai311-memorial.jp/>

東日本大震災の被害の状況や復興への取り組みについて紹介するとともに、仙台市東部沿岸地域の「かつて」と「いま」を伝える施設です。常設の展示に加え企画展やイベントを開催しており、様々な切り口から震災について知ることができます。※自由見学(展示の説明を希望する場合や団体での訪問は要連絡)



- 期間/通年 ■時間/10:00~17:00 ■料金/無料 ■休み/月曜日(祝日の場合は翌日)・祝日の翌日(土・日・祝を除く)・年末年始(12/29~1/4)
- 住所/仙台市若林区荒井字沓形85-4(地下鉄東西線荒井駅舎内)

### 36 震災遺構 仙台市立荒浜小学校 「津波の威力や脅威を伝え、防災・減災の意識を高める」

1~150人  
程度まで  
30~90分

電話 022-355-8517

<https://arahama.sendai311-memorial.jp/>

東日本大震災において、児童や教職員、住民ら320人が避難し、救出された荒浜小学校を震災遺構として公開しています。校舎の被害状況、被災直後の様子を伝える写真の展示や、地震発生から避難、津波の襲来、そして救助されるまでの経過を映像で振り返るとともに、荒浜地区の歴史や文化、荒浜小学校の思い出なども紹介しています。



- 期間/通年 ■時間/9:30~16:00(7~8月は9:30~17:00) ■料金/無料
- 休み/月曜日・第4木曜日(祝日を除く)・年末年始(12/29~1/4) ■住所/仙台市若林区荒浜字新堀端32-1 ■その他/館内案内を希望する際は事前にご予約ください

### 37 深沼 うみのひろば 「360°・180°VR映像で学ぶ防災・減災学習」

お問い合わせください  
30分~

メール support@fukanuma-uminohiroba.jp(事務局:(一社)あんしん・すまいるら支援機構)

東日本大震災による壊滅的な被害で災害危険区域となった深沼海岸エリア。かつては松林や水田に囲まれ、約800世帯が暮らし、深沼海水浴場には多くの人が訪れました。この地域が再び、多様な人々の笑顔あふれる場所になってほしいとの願いを込めて、当施設は誕生しました。震災の記憶継承と防災・減災の啓発を目的に、東北福祉大学監修VR映像を活用したプログラムを提供。福祉大生がレクチャーする講座もあります。(応相談)ご希望の時間に合わせたプログラムの構成や昼食など、是非お気軽にご相談ください。



- 期間/通年 ■時間/10:00~17:00 ■料金/スタンダードプログラム550円(1人)他
- 休み/年末年始、他施設休業カレンダーによる
- 住所/仙台市若林区荒浜字中丁19番(地番)他※震災遺構荒浜小学校から徒歩約8分

### 38 津波復興祈念資料館「関上の記憶」 「津波で学んだことは忘れない」

1~200人  
50~90分  
(プログラムによって異なる)

電話 022-738-9221

<http://tsunami-memorial.org>

「関上の記憶」は東日本大震災から考える「いのちの大切さ」を伝える津波復興祈念資料館です。今回の震災でたくさんの方が亡くなり、痛切に知らしめられた「いのちの大切さ」。次世代を担う子どもたちへ、地元で被災をした語り部による「関上案内ガイド」や「語り部講話」などの震災学習を積極的に実施しています。



- 期間/通年 ■時間/[月・火・水・金・土]10:00~15:00、[日・祝]9:00~15:00
- ※閉館日、時間外要相談 ■料金/入館料無料、プログラムは5,000円~
- 休み/木・年末年始(11日は木でも開館) ■住所/名取市関上東3丁目5-1

## 39 名取市震災復興伝承館

56人  
(映像視聴座席数)  
30分

電話 022-393-6520  
メール info@natori-denshoukan.jp  
https://www.natori-denshoukan.jp/

東日本大震災の記憶と教訓を、世界各地そして後世に伝承し、震災を風化させることなく、防災意識を醸成していくことを目的とした施設です。震災以前の閉上の街のジオラマ、「復興へのあゆみ」の展示、自然災害や防災について学べる展示や水圧体感ドア5分間の映像など御覧いただけます。

■期間/通年 ■時間/[4~11月]9:30~16:30、[12~3月]10:00~16:00  
■料金/無料 ■休み/火曜日(祝日の場合は翌日)、12/29~1/3  
■住所/名取市閉上東1丁目1-1



## 40 一般社団法人 ふうむ名取・閉上震災を伝える会 「震災からの学び・教訓を伝えます」

バス3台まで  
150人  
50~150分

FAX 022-382-6210 電話 090-3583-1359

メール yuriage1@gmail.com

http://yuriage1.blog.fc2.com/

(※申込みはブログの申込みフォームに必要事項を記入し、送信してください。)

東日本大震災による壊滅的な被害を受け、復興を遂げる名取市閉上を震災から学んだ・感じたこと・教訓をポイントとなる場所で震災前や後の写真を使い、6.3mの日和山・メモリアル公園・震災復興伝承館などを見学します。

■期間/通年 ■時間/[4~10月]9:30~17:00、[11~3月]10:00~16:00 ■料金/①50分5,000円(日和山・メモリアル公園)、②90分7,000円(震災復興伝承館・日和山・メモリアル公園) ■休み/不定休※震災復興伝承館は火曜日休館 ■住所/名取市大手町5-6-1(名取市民活動支援センター内)



## 41 岩沼市千年希望の丘交流センター

30人  
映像視聴  
13分と18分の2種類

電話/FAX 0223-23-8577  
メール kouryu@city.iwanuma.miyagi.jp  
http://sennen-kibouno-oka.com/

「千年希望の丘」相野釜公園内にある交流センターは、震災の記録・記憶の伝承と防災学習や育樹活動の拠点施設としての役割を担っています。震災時の状況や復興の取り組み等のパネル展示の他、防災学習関連の多言語動画も上映しています。また、震災語り部(要予約)による園内ガイドができます。

■期間/通年 ■時間/9:00~17:00 ■料金/入館無料 ■休み/火曜日(祝休日の場合は翌日)・年末年始(12/26~1/7) ■住所/岩沼市下郷字浜177番地 ■その他/[震災語り部ガイド]所要時間:60~90分 ガイド1人当たり対応人数:30人まで 料金:語り部1人あたり3,000円



## 42 震災語り部の会ワツタリ 「震災の記憶を語り継ぐ」

10人以上  
(10人以下の場合、別途相談)  
60~90分

電話 0223-34-0513(亘理町観光協会)

http://www.datenawatari.jp/

東日本大震災において、亘理町は震度6弱を観測。それに伴う大津波で町の約48%が浸水、306名もの尊い人命が失われました。このような悲劇を2度と繰り返してはなりません。震災の記憶を後世に語り継ぐことにより、多くの方に防災意識を持っていただくことを目指しています。

■期間/通年 ■時間/9:30~16:00 ■料金/バス1台につき5,000円 ■休み/年末年始 ■住所/亘理町字悠里1番地



## 43 山元町防災拠点・山下地域交流センター 「防災拠点の機能と役割」

5~40人  
30~90分

電話 0223-37-5592  
FAX 0223-37-5593  
https://www.town.yamamoto.miyagi.jp/soshiki/20/23848.html

防災拠点と交流拠点の二つの機能を併せ持つ施設であり、あらかじめ避難所を想定して建設されています。施設見学などにより防災について学ぶことができます。また、震災から復興までの歩みを映像やパネル、写真で紹介しています。

■期間/通年 ■時間/9:00~21:30 ※案内時間は平日9:00~16:00 ■料金/無料 ※施設案内には事前予約が必要となります。見学日の2週間前までに電話、ファックスでお申し込みください。 ■休み/年末年始(12/28~1/4) ■住所/山元町つばめの杜1丁目8



## 44 山元町震災遺構 中浜小学校 「被災した校舎に立ち入って見学」

1~120人程度  
45~120分程度

電話 0223-23-1171

https://www.town.yamamoto.miyagi.jp/

2階天井近くまで津波が到達したものの、児童ら90人の命を守り抜いた校舎を被災したままの状態一般公開。津波の脅威を知るだけでなく、映像や展示物などから避難行動を考え、屋上倉庫では避難した一夜を肌で感じることができ。見学体験の工夫などが評価され、グッドデザイン賞を受賞した唯一の震災遺構。

■期間/通年 ■時間/9:30~16:30(入館16:00まで) ■料金/一般400円 高校生300円 小中学生200円(20人以上100円引き)、語り部ガイド1人につき5,000円 ■休み/月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始 ■住所/山元町坂元字久根22番地2



## 45 やまもと語りべの会 「山元の歴史を全国に発信」~震災を語り継ぎながら~

バス3台まで  
1人~  
45分~  
お問い合わせください

電話 0223-23-1171(震災遺構 中浜小学校)  
FAX 0223-23-1172

山元町の震災拠点として震災遺構中浜小学校が開館。山元案内人として町内のガイドも展開、震災遺構中浜小学校でのガイドも実施しています。様々な防災に役立つ知識を知り災害を正しく怖がり正しい知恵をもつ学習・見学を展開中。防災・減災の初めの一歩にするため来町ください。また、全国へ避難所運営等、学校等の防災学習の講演や見学団体のオンライン事前学習も展開しています。

■期間/通年(事前予約制) ■時間/90分以上(要相談) ■料金/町内ガイド(同乗)大型バス(7,000円)、他は要相談 ■休み/震災遺構中浜小学校の休館日(月曜日等)はホームページでご確認ください ■住所/震災遺構中浜小学校(見学申し込み先)山元町坂元字久根22番地2 ■その他/震災遺構中浜小学校は入館料や語り部ガイド料等が別途必要

